

10歳までに決まる!

6,7,8,9歳向け学習メソッド

頭のいい子の 育て方

小1から身につけたい
読む力、書く力、考える習慣

1日
15分

で伸ばす
国語脳・算数脳

1冊4冊



潜在能力を引き出す

魔法の習慣

おうちで
できる

algo

1 2 3

スペシャル
読のよくなるゲーム

- 読書能力UP
- 算数能力UP
- 国語脳・算数脳ドリル32冊
- 高見式本のキューセブン
- 石版式読書字かるた

「読む力、書く力、考える習慣」を身につけることで、子どもの潜在能力を引き出し、学校の勉強でも活躍できる子に育てます。

ません。手を使ってブロックを触ることでも、部屋でかくれんぼをするだけでも十分。五感を使って、全身を使って、立体力を上げるようにすることが大切です。図形に触れさせるのは早ければ早いほどいいので、小さい頃から図形に触れさせるようにしましょう」

キューブで遊ぶことが 図形問題のトレーニングに

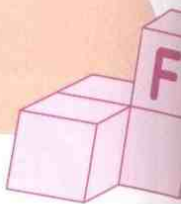
そのための道具として高濱先生が薦めているのが、キューブだ。

「キューブは家の中でも取り組むことができる素材です。転がしたり、組み合わせたりして、手を動かしながら工夫をこらすことができます。遊び感覚でやる子どもがほとんどでしょう。しかし、そういった体験を通じて、立体を捉える力がきたえられていくのです」
では、具体的にキューブを使ってどのようなことをすればいいのか見ていくことにしよう。

「キューブを正確に描ける、ということとは基礎の基礎です。これは図形を認識することにもつながります。そのためにも、キューブを早く正確に描くトレーニングをしておいたほうがいいことは、間違いありません。特に、逆から図形を見たようにイメージするのはハードルが高い問題です。図形を頭の中で回すことができるようにならないければいけません、こういった見える力が図形問題を解く鍵になります」

15分

できる！ 図形センスを鍛える秘密のメソッド キューブで立体力がアップする方法



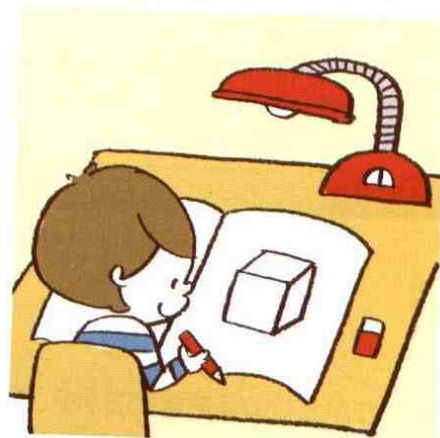
Method. 3 逆描きキューブ



- 用意するもの
- キューブ (または積み木などのブロック)
 - ノートなどの紙
 - ペンや鉛筆

目の前にキューブを置いてみて、お母さんから見たら形を描かせます。裏側を見る能力が必要です。

Method. 1 キレイにキューブ



- 用意するもの
- ノートなどの紙
 - ペンや鉛筆

消しゴムを使わずに正確にキューブを描く練習です。慣れたら、横や上にキューブを付け足したものを描きます。



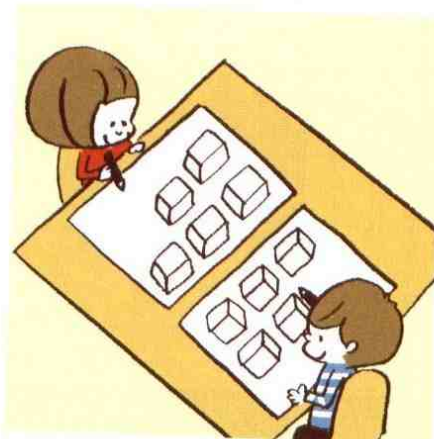
キューブ以外でも...

- 手を使って積み木の形に触れ、遊ぶ
立体そのものにじっくりと触れ、回転させる体験ができます。
- 部屋でかくれんぼをし、ダンスやソファなどの裏側に隠れる
実際にものの裏側を見る、という活動がイメージ力を鍛えます。
- 木やジャングルジムに登り、上からの視点を覚える
いつもと違う視点に立つことで、自由な角度からイメージさせます。

といった五感を使った経験も立体力を磨きます。



Method. 2 早描きキューブ



- 用意するもの
- 二人分の紙
 - ペンや鉛筆
 - ストップウォッチ

1分間でどれだけ多くのキューブを描けるか、を2人で競います。ゲーム感覚で描くことに慣れましょう。

国語脳
算数脳
を育てる

15分

学習メソッド

(立体力)

●監修……花まる学習会代表、算数オリンピック
花まる
委員会理事、著書に「小学までに育
たい算数脳」(健康シャネル社)、「算
学習会
数脳ドリル 立体王」(中学受験合格
高濱正伸
バスター) (学習研究社) など多数。



図形問題には空間認識力が必要!

キューブで

花まる学習会

図形センスを磨く

算数で得意、不得意が分かれてしまふのが図形問題。その決め手となる「立体力」を身につける近道は、積み木やブロックなどのキューブに触れることにある。

小さい頃からの体験で
図形問題に強くなれる

算数ではドリルを解いて鍛えられる能力と、そうでない能力がある。その代表が図形問題を解くために必要な立体を感じる力、空間認識力だ。

「図形問題は感覚で解いているように思われる人もいるかもしれませんが、九九と同じでやれば誰でもできる、伸びる能力なんです。決して生まれもったものではないので、鍛えれば身につきます」

こう語るのは花まる学習会代表の高濱正伸先生。その能力はどのようにして身につけることができるのだろうか? 「空間認識力は、体験でしか身につく

空間認識力とは?

●自由な方向から見る力

頭の中で、立体を裏側から見たり、いろいろな角度から眺めることができる力。

●選択的に見る力

複雑な形の中から、必要な部分だけを取り出して見ることができる力。

●立体を動かす力

頭の中で、立体を移動させたり、回転させたりすることができる力。

空間認識力は基本的に自らの体験でしか身につかないので、五感や全身を使って様々な経験をすることが唯一の近道となります。



立体のイメージを頭で描かせるために、塾の授業にキューブを積極的に取り入れている、高濱正伸先生。その具体的なメソッドを伺った。



まる学習会では実際にキューブを使った学習を積極的に行い、生徒達は楽しみながら立体力を身につけている。体験から、立体がイメージできるようになるのだ。